

# 令和6年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 101-103 ページ)

政策名	7 スマートでスリムな行政運営の確立のために。(行政経営)
施策名	30 行財政運営の最適化

## ★ 目指す姿

行政活動に対する検証と改善が行われ、健全な財政基盤のもと、持続可能な行財政運営が実現している。



## ■ 施策の主な取り組み

### ③ 公有財産の維持管理及び活用

「公共施設等総合管理計画」に基づき、財政負担の平準化を図り、良質で持続可能な公共施設サービスを提供します。

#### ◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値 R6 R10 R14
個別施設計画策定数	件	個別施設計画を策定した施設類型数(平成30年度からの累計)	11	13 15 15

## ■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
③-1	公有財産維持管理事業	施設の安全性や機能性を保つため、定期点検や改修工事等の維持管理業務を実施します。また、「公共施設等総合管理計画」を更新するとともに、個別施設計画の策定・改訂を進め、計画に基づく公共施設の活用等を進めます。	●

前年度実績値 (R5)	今年度の進捗 目標値 中間値(9月末) 実績値(年度末) 目標達成度(R6年度比)	担当部署
14	14 14 14 100.0%	総務部 管財課

## ■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価	今後の方向性	担当部署
今年度の事業実施計画		実績と課題	3視点 所管判定 方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	担当部署
①-1	総合計画進管理事業	【実績】 行政評価については、事前記入・事中評価・事後評価の3回に分けて実施し、次年度予算検討の際に活用した。また、評価によるコスト削減等の利点を職員に共有するため、事中評価に併せて職員向け研修会を実施した。 【課題】 第5次香芝市総合計画中期基本計画の策定のため、所管と連携の下、全事業のロジックモデルシートの作成を事務事業再編評価指標の見直しを実施した。 ・年4回にわたる香芝市総合計画及び総合戦略推進本部及び香芝市都市経営市民会議を開催し、審議を実施した。 ・市民アンケートや中学生アンケート等の意識調査を実施し、第5次香芝市総合計画中期基本計画の策定過程において活用した。また、市民アンケートには地域等関係指標を取り入れ、その結果を第3期香芝市創生総合戦略の成果指標に設定する等するなど工夫した。 【評価】 行政評価の評価対象は政策体系に基づく事務事業単位としているが、予算案策時に成果及びコストの方向性を判断する場合においては、より細かな事業単位で予算の増減等を検討しているため、行政評価と予算の連動が十分に機能しているとは考えられない状況である。客観性かつ合理性のある評価を実施するためには、評価の仕組みと職員の意識の両面から改善を図る必要がある。	72 72 77 現状維持 現状維持 現状維持	市長公室 総合政策課
③-1	公有財産維持管理事業	【実績】 施設類型方針対象外施設の個別施設計画について、施設の利用や老朽化の状況を踏まえ策定及び方針の見直しを行った。 【課題】 公共施設の広域連携の取り組みについて、R6年度は検討会を5回開催し、R7年度からの相互利用本格運用に向けた課題整理を行った。 【評価】 公共施設の相互利用本格運用の開始にあたり、検討会の中で細部の内容調整を行う必要がある。	72 69 90 拡充 現状維持	総務部 管財課

## ■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	内容
・第5次香芝市総合計画中期基本計画の進捗管理に当たっては、各所管における事業の進捗を評価指標等から客観的に把握できる仕組みを構築するとともに、行政評価の手法を再考し、より合理性を効果を生み出せるよう創構工夫する。 ・R7年度からの公共施設の相互利用本格運用の開始にあたり、検討会において、協定書内容について検討を行う。	

担当課評価	成果の方向性	コストの方向性
A 1 事業	拡充 1 事業	拡大 0 事業
B 1 事業	現状維持 1 事業	現状維持 2 事業
C 0 事業	縮小 0 事業	縮小 0 事業
	休廃止 0 事業	休廃止 0 事業

(第5次総合計画 前期基本計画 104-105 ページ)

**★目指す姿**

市税や保険料が公正公平に負担されるとともに、新たな財源により歳入を確保できている。

**SDGs該当分野**

<b>3</b> 持続可能な消費と生産 持続可能な消費と生産	<b>9</b> 産業と雇用創出 産業と雇用創出	<b>11</b> 持続可能な都市とコミュニティ 持続可能な都市とコミュニティ
-----------------------------------	-----------------------------	--

① 適正課税の推進および収納(徴収)率の向上

■実施する主な事業

### ◆指標の達成状況

## ② 財産調査の強化と適正な債権管理

■実施する主な事業

### ◆指標の達成状況

### ③ 自主財源の確保

■実施する主な事業

### ◆指標の達成状況

## ■実施する主な事業の評価

## ■ 施策の方向性(改善策)

担当課評価

成果の方向性	コストの方向性
--------	---------

拡充	4 事業	拡大	2 事業
現状維持	2 事業	現状維持	4 事業
縮小	0 事業	縮小	0 事業
休廃止	0 事業	休廃止	0 事業

# 令和6年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 106-108ページ)

政策名	7 スマートでスリムな行政運営の確立のために。(行政経営)
施策名	32 情報とICTの利活用

## ★ 目指す姿

ICTを活用し、市民がそれぞれのニーズに合った方法で情報やサービスを利用できている。



## ■ 施策の主な取り組み

### ① 市政情報の提供と広報力の強化

市のホームページにおけるアクセシビリティの確保やオープンデータの充実などにより、利用しやすい市政情報の提供に努めます。また、さまざまな情報媒体の活用や効果的な表現による情報発信を積極的に行い、市内外への発信力を強化することで、市のイメージや知名度の向上を図ります。

#### ◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初				目標値			
			(R1)	R6	R10	R14	(R5)	R6	R10	R14
市ホームページ「広報」平均アクセス数	件	市ホームページ「広報」ページの一月当たりの平均アクセス数	770	960	1,150	1,340				
SNSのフォロワー数	人	本市が利用するSNSのフォロワー数の合計	284	560	840	1120				
オープンデータ公開数	件	オープンデータとして公開されているデータ数	0	5	10	14				

### ■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合評価
①-1	広報紙発行事業	市民への情報発信媒体として、市政情報や市民のニーズに応じた適切で分かりやすい情報の提供を行い、市の魅力を発信します。	—
①-2	広報及び報道機関連携事業	SNS及びメディアの活用、報道機関への情報提供により、市政情報及び本市の魅力を市内外へ広く発信します。	●

前年度実績値		今年度の進捗				担当部署
(R5)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成率 (R6基準)		
1,082	960	1,079	1,113	115.9%		市長公室 秘書広報課
484	560	491	495	88.4%		市長公室 秘書広報課
19	21	19	20	95.2%		総務部 総務情報課

### ② ICTを活用した業務の効率化・利便性の向上

Society5.0に対応し、さまざまな行政課題の解決に積極的にAIなどのICTを活用し、業務の効率化および利便性の向上を図ります。

#### ◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初				目標値			
			(R1)	R6	R10	R14	(R5)	R6	R10	R14
電子申請・施設予約利用件数	件	奈良電子自治体共同運営ポータルサイト「e古都なら」による電子申請・施設予約件数	1,423	2,700	3,000	3,300				
AIチャットボット利用件数	件	AIチャットボットの利用件数	0	19,000	20,000	21,000				

### ■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合評価
②-1	ICT活用事業	行政事務や市民サービス等に積極的にICTを利用することで、業務の効率化や市民の利便性の向上を促進します。	—

前年度実績値		今年度の進捗				担当部署
(R5)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成率 (R6基準)		
15,384	15,000	5,600	13,645	91.0%		総務部 総務情報課
12,799	15,000	6,271	14,366	95.8%		総務部 総務情報課

### ③ 情報セキュリティの確保

ICTを利用した市民サービスや組織内利用システムの安定的な運用のため、組織内の情報機器を不正アクセスやコンピュータウイルス等の脅威から守り、情報ネットワークや職員の使用する情報端末のセキュリティを確保します。

#### ◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初				目標値			
			(R1)	R6	R10	R14	(R5)	R6	R10	R14
セキュリティインシデント件数	件	セキュリティインシデント発生件数	0	0	0	0				

### ■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合評価
③-1	情報セキュリティ対策事業	情報セキュリティに対する職員研修の実施や、セキュリティ対策システムの導入および維持管理などを行います。	—

前年度実績値		今年度の進捗				担当部署
(R5)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成率 (R6基準)		
8	0	5	7	0.0%		総務部 総務情報課

## ■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当部署
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入		
今年度の事業実施計画								
①-1	広報紙発行事業	【実績】 ・速達なく計画どおりに、広報紙を計22回発行した。 ・広報紙は1回の特集記事作成に際しては、担当課と総務に連携しながら取材・紙面編集を行い、市民にとって有益な情報の発信に努めた。 ・次年度からの月1回の発行、広報紙のカラー化の方向性を定めた。 【課題】 ・広報紙の電子化の普及を行い、ペーパーレス化に向けた検討を行う。	A	69 77 87	拡充  拡充	【成果の方向性】 ・より魅力的な記事を作成するために、市民が真に知りたい情報の掲載に向け、取材や情報収集に力を入れ、内容の充実をより図っていく。 【コストの方向性】 ・情報発信の方法を多角化していく観点から、広報紙二つを統合する予定であるが、統合された広報紙をより魅力的なものにするためにもフルカラー化し、視認性にわかりやすい広報に向けて拡大を予定している。	市長公室 秘書広報課	
①-2	広報及び報道機関連携事業	【実績】 ・通年、月平均10件のLINE投稿による情報発信を行った。(12か月で123件) ・通年、月平均5件の各種報道機関への情報提供を行った。(12か月で58件) ・記事掲載の回数増に向け、一方的な情報提供のみでなく、記者の取材に求めている点に的確に答える機会を設けた。 【課題】 ・SNSを活用した効果的な情報発信方法の検討	A	80 85 75	拡充  拡充	【成果の方向性】 ・香芝市の魅力の市外への発信が本市の課題である。 ・そのため、新しい媒体で情報発信を行っていく予定である。 【コストの方向性】 ・上述のとおり、市内への情報発信のため、これまで活用してこなかった媒体を用いた情報発信を行うことを予定しており、大きくコストが嵩むものではないが、拡大を予定している。	市長公室 秘書広報課	
②-1	ICT活用事業	【実績】 ・電子申請について、令和5年度に引き続き高い利用件数を維持した。 ・AIチャットボットについて安定した利用を維持した。 ・令和7年2月より「暮らしの窓口」のサービスを開始した。 【課題】 ・電子申請は高い利用を維持しているが、アンケートやイベント申込といった簡単な申請が多く、窓口に来なければできない手続きはまだまだ多い状況にある。	A	80 69 87	現状維持  現状維持	【成果の方向性】 ・電子申請サービスについて安定して高い利用状況を維持しており、現状維持が妥当と判断。 【コストの方向性】 ・AIチャットボットの正答率に課題があり、正答率向上の方法を検討していく。 ・電子申請サービスの正答率について安定して高い利用状況を維持しており、現状維持が妥当と判断。 ・AIチャットボットについて正答率向上が図れない場合は、サービス継続可否の検討が必要。	総務部 総務情報課	
③-1	情報セキュリティ対策事業	【実績】 ・新人向け、全職員向け、マイナンバー事務従事者向け等、多様な情報セキュリティ研修を実施した。 ・様々な脅威に対応できるよう、香芝市情報セキュリティポリシーの改正を行った。 【課題】 ・セキュリティインシデント件数について目標値を下回った。	B	64 100	現状維持  現状維持	【成果の方向性】 ・発生インシデントはいずれも人的要因に起因するものであり、職員研修の徹底及び定期的な監査等によりセキュリティ意識の向上による対策を継続する。 【コストの方向性】 ・発生インシデントはいずれも人的要因に起因するものであることから、コストの拡大より、業務フローの見直しや研修等、人的エラーを低減していく施策が優先であると判断する。	総務部 総務情報課	
・全職員の情報セキュリティ研修の受講。								

## ■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性
・前年度に実施した広報紙に関するアンケート結果をもとに、各年代における市政情報の入手方法やニーズなどを把握し、広報紙の発行回数の変更を行う。また、より多くの市民の関心を集めるため、以前より、情報発信のツールとして活用しているLINEに加え、令和6年度から開始したX(旧Twitter)やYouTubeによる動画の配信を積極的に行うなど、様々なメディア媒体での情報を積極的に発信し、「訪れたら」「住み続けたい」まちのイメージの醸成につなげていく。 ・香芝市行政推進計画に基づき、基幹情報システムの標準化を進めることにより行政の効率化に寄与する取り組みを進める。 引き続き、情報セキュリティを維持するための施策を調査するとともに、職員研修によりセキュリティ意識の向上を図っていく。

担当課評価	
A	3 事業
B	1 事業
C	0 事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	2 事業	拡大	2 事業
現状維持	2 事業	現状維持	2 事業
縮小	0 事業	縮小	0 事業
休廃止	0 事業	休廃止	0 事業

# 令和6年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 109-111 ページ)

政策名	7 スマートでスリムな行政運営の確立のために。(行政経営)
施策名	33 行政組織の活性化・組織力の強化

## ★ 目指す姿

付加価値の高い行政サービスが提供できるよう、職員一人ひとりが知識・技能・意欲の向上に努めている。



## ■ 施策の主な取り組み

### ① 適正な人事評価

評価基準を充実させ評価者に依存しない評価と昇任等へ反映できる制度を確立し、職員の育成と士気高揚を図ります。

#### ◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
人事評価アンケート調査満足度	%	人事評価アンケートで「良い」「とても良い」と回答した人数/全回答者数(市職員対象)	—	70	80	90

### ■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	人事評価適正化事業	評価指標の細分化や適正化を進め、公正な人事評価を実現するとともに、これを昇任等に確実に反映します。	—

前年度実績値 (R5)	今年度の進捗				担当部署
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成率 (R6年度比)	
—	70	0	—	—	市長公室 人事課

### ② 職員研修の推進

タイムマネジメントやリスクマネジメントの他、法律的素養及び接遇力の向上に重点をおくとともに、時勢に応じて求められる能力の向上に資する研修を実施します。

#### ◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
研修実施回数	回	人事課主催の研修実施回数	10	11	12	12

### ■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	研修推進事業	個々の職員への必要と思う内容や分野の調査を踏まえた上で、より効果的な研修を企画・実施するとともに、その他必要となる研修の回数・内容の拡充を図ります。	—

前年度実績値 (R5)	今年度の進捗				担当部署
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成率 (R6年度比)	
12	12	3	10	83.3%	市長公室 人事課

### ③ 効果的な人員配置

各法令等の制定・改正・廃止等や社会動向を踏まえた上で必要な人員を見定め、正規職員のみならず、各種の資源を活用し、より効果的・効率的な人員配置を目指します。

#### ◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
超過勤務時間数	時間	選挙や災害対応を除く超過勤務の総時間数	38,000	37,240	36,100	34,200
メンタルヘルス不調者数	人	メンタルヘルス不調による病気休暇取得者数	7	5	3	0

### ■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
③-1	超過勤務時間数削減推進事業	超過勤務の実態把握に努め、適宜、適切となるよう人員の配置を見直します。	—
③-2	ヒアリング調査事業	本人またはその上司・同僚等から職員の不満につながる事業の通報があった場合に、必要と考えられる場合に本人を含む関係人へヒアリング調査を行い、本人へのフォローアップと不満因子の改善、その発生の防止を図ります。	—

前年度実績値 (R5)	今年度の進捗				担当部署
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成率 (R6年度比)	
64,713	37,240	30,186	65,002	25.5%	市長公室 人事課
13	5	14	23	-800.0%	市長公室 人事課

## ■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
今年度の事業実施計画		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 所管判定 必要性 有効性 効率性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入			
①-1	人事評価適正化事業	【実績】 ・人事評価の目的(職員の能力開発・人材育成、コミュニケーションによる組織の活性化等)及び公正性の確保の重要性について、文書により全職員に周知を図った。 【課題】 ・評価指標の細分化や適正化を進め、公正な人事評価を実現するとともに、これを昇任等に確実に反映させるべく制度を洗練する必要がある。	B	85	現状維持	【成果の方向性】 人事評価の目的(職員の能力開発・人材育成、コミュニケーションによる組織の活性化等)及び公正性の確保の重要性について、全職員に継続して周知を図る必要がある。	市長公室 人事課	
				67				
				75				
②-1	研修推進事業	【実績】 ・次年度昇任試験候補者を対象に、法務能力の向上を目的とした研修(行政法、憲法)を計7回実施した。 【課題】 ・研修受講者の役割に偏りがあり、職員が等しく研修を受けられる機会を設ける必要がある。	B	80	拡充	【成果の方向性】 職員の法務能力等の向上を目指し、法務研修を企画・実施するとともに、その他必要となる研修についても企画検討し、進めていく必要がある。また、研修後に知識の定着度の確認や、今後の研修内容の検討のためのアンケートの実施等についても検討する必要がある。なお、法務研修の内容については、昇格試験の出題範囲とする。 【コストの方向性】 現状を維持したまま、手法を改めることで効果の向上を図る。	市長公室 人事課	
				80				
				67				
③-1	超過勤務時間数削減推進事業	【実績】 ・1月あたりの超過勤務時間数が80時間を超える職員に定期的にヒアリングを行う。 ・定時退庁日(市役所・水曜日・総合福祉センター・木曜日)の徹底を図るため、原則として勤務時間終了30分経過後に各自の端末が自動的にシャットダウンする設定とし、全庁的な時間外勤務削減の意識付けを図る。 【課題】 ・端末の自動的なシャットダウンに関する検討が必要である。	B	85	現状維持	【成果の方向性】 超過勤務時間の多い職員や所属に対して積極的にヒアリングを行うとともに、長時間勤務による健康被害の発生防止を図る必要がある。	市長公室 人事課	
				67				
				80				
③-2	ヒアリング調査事業	【実績】 ・高ストレス者に対する面談を行った。(人事課2名、産業医5名) ・超過勤務時間数が長時間となっている職員へのヒアリングを行った。(延べ9名) 【課題】 ・高ストレス状態であると判断される職員が増加傾向にある。	B	85	現状維持	【成果の方向性】 精神面での健康問題に伴い休職者が引き続き多い傾向にあることから、健康相談室や共済組合が実施する事業の周知を継続する必要がある。	市長公室 人事課	
				75				
				75				

## ■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	職員の法務能力等の向上を目指し、法務研修を中心とした研修を継続して実施するとともに、職員の能力評価及び業績評価について、その目的や公正性の確保の重要性について全職員へ周知を図るとともに、制度を洗練させていく。 一方で、職員の心身の健康確保のために、超過勤務時間の多い職員や所属に対して積極的にヒアリングを行うとともに、心の健康相談室や共済組合が実施する健康診断などの施策により健康問題の防止に努める。
---------	---

担当課評価	成果の方向性	コストの方向性
A 0 事業	拡充 1 事業	拡大 0 事業
B 4 事業	現状維持 3 事業	現状維持 4 事業
C 0 事業	縮小 0 事業	縮小 0 事業
	休廃止 0 事業	休廃止 0 事業